2．偶発債務
　保証債務　6,320,720千円
3．翌期の運営費交付金から充当されるべき引当外賞与の見積額　1,572,411千円
4．翌期以降の運営費交付金から充当されるべき引当外退職給付の見積額　17,188,021千円

（キャッシュ・フロー計算書注記）

1．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳
　現金及び預金　7,388,611千円
　定期預金　△3,300,000千円
　資金期末残高　4,088,611千円
2．重要な非資金取引
⑴　現物寄附による固定資産の取得
　現物寄附による有形及び無形固定資産の取得　485,230千円
　現物寄附による消耗品等の取得　255,953千円
⑵　ファイナンス・リースによる資産の取得　1,187,436千円

（国立大学法人等業務実施コスト計算書注記）

国または地方公共団体からの出向職員に係る引当外退職給付増加見積額は、14,845千円です。

（減損会計の適用について）

減損の兆候が認められた固定資産に関する事項

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要　（単位：千円）

減損の兆候が認められた固定資産	用途	場所	種類	帳簿価額（平成28年度末帳簿価額）	
附属中等教育学校明石校舎	校舎	明石市山下町	土地	654,626	
			建物	182,943	
			構築物	435	計　838,005

⑵　認められた減損の兆候の概要
　附属中等教育学校明石校舎については、平成27年３月の附属中等教育学校明石校舎閉校に伴い、使用可能性を著しく低下させる変化が生ずる見込みがあるため、減損の兆候が認められています。

⑶　減損の認識に至らなかった理由
　附属中等教育学校明石校舎の利用については、キャンパス整備計画「神戸大学キャンパスマスタープラン」において、再整備の検討を行っており、加えて、本学戦略企画本部内の「土地等有効活用検討ワーキング」においても、今後も使用することを含め、検討中であることから減損の認識には至らなかったものであります。

翌事業年度以降の特定の日以後使用しないと決定した固定資産に関する事項

⑴　使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所、帳簿価格等の概要
（単位：千円）

使用しないという決定を行った固定資産	用途	場所	種類	帳簿価額（H28年度末帳簿価額）	
山の街宿舎	職員宿舎	神戸市北区緑町	土地	19,510	
			建物	21,669	計　41,179
住吉宿舎	職員宿舎	神戸市東灘区住吉山手	土地	40,112	
			建物	489	
			構築物	0	計　40,601
宝塚宿舎	職員宿舎	宝塚市武庫山	土地	145,580	
			建物	1,746	
			構築物	339	計　147,665
鈴蘭台合同宿舎	職員宿舎	神戸市北区鈴蘭台西町	土地	245,790	
			建物	38,918	
			構築物	9,320	計　294,028
ひよどり台合同宿舎	職員宿舎	神戸市北区ひよどり台	土地	338,770	
			建物	59,404	
			構築物	3,414	計　401,588
工学部宿舎	職員宿舎	神戸市灘区一王山町	土地	42,338	
			建物	0	
			構築物	17	計　42,355

⑵　使用しなくなる日

使用しないという決定を行った固定資産	使用しなくなる日
山の街宿舎 住吉宿舎 宝塚宿舎 鈴蘭台合同宿舎 ひよどり台合同宿舎 工学部宿舎	平成32年３月31日以降を予定

⑶　使用しないという決定を行った経緯及び理由
　職員宿舎は、本学の教職員の福利厚生に資する役割を有しておりますが、分散化・老朽化による維持管理費の増加、稼働率が著しく低下した宿舎への対応等を検討した結果、職員宿舎の一部について、整理統合に向けて使用しないという決定を行いました。
　廃止対象宿舎については、「留学生受入施設検討ワーキング」等において、留学生宿舎への転用等、現行建物の利活用を含め検討を行っており、加えて、本学戦略企画本部に「土地等有効活用検討ワーキング」を立ち上げ、今後の有効活用方策を検討中であります。
　また、入居者の退去が完了するまでは、引き続き職員宿舎として維持管理を行うこととなるため、減損の認識には至りませんでした。

⑷　将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額
　入居者の退去が完了し、廃止の時期が決定した時点で、帳簿価格、回収可能サービス価格及び減損額の見込額を算出します。